

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	文化社会学部 広報メディア学科		学年※留学時:	2年生
留学先:	国:	韓国	大学/機関:	国民大学
期間:	2024年3月1日～2024年8月26日			
	中期		計6カ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:
- ・科目名:
メディア映像日本学 週3時間
現代日本政治の理解 週3時間
日本の歴史Ⅱ 週3時間
日本経済の理解 週3時間
師弟同行セミナー 週4時間
課題先進国日本研究 週3時間

時間	月	火	水	木	金	土	日
10時半～12時		○		○			
12時～13時半		○		○			
10時半～13時	○						
15時～16時半			○	○			
13時半～16時					○		
9時半～13時						○	
9時～13時(語学堂)	○	○	○	○	○		

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

- ・メディア映像日本学

海外派遣留学生
留学報告書

25名程度 日本、ロシアなどの数名を除き全員韓国人
パク・ソニョン教授
映像作品を鑑賞、PPTで授業、プレゼン

・現代日本政治の理解
30人程度 日本、中国などの数名を除き全員韓国人
イ・ウォンドク教授
PPTで授業、プレゼン

・日本の歴史Ⅱ
30人程度 全員韓国人
キム・ボイエ教授
PPTで授業、グループワーク

・日本経済の理解
15人程度 日本、中国などの数名を除き全員韓国人
パク・チャンゴン教授
PPTで授業、グループディスカッション、発表

・師弟同行セミナー
25人程度 日本人9人、ロシア人1人以外全て韓国人
イ・ウォンドク教授
登山、食事、交流

・課題先進国日本研究
パク・キョンミン教授
10人程度 日本人1人を除き全員韓国人
プレゼン、ディスカッション

・語学堂
ユ・ヒョジン先生
20人程度 ベトナム、中国、インドネシア、ブラジル、ウクライナ、モンゴル
教科書で授業、グループワーク、プレゼン

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。
プロメテウスという国際交流サークルに参加して、さまざまな国の人と交流した。また MT という宿泊パーティにも参加した。

また日本学科の「ゆい」というサークルにも参加し、日本学科の学生たちとたくさん交流した。
休日はソウルの中心部に行って友達と遊んだ。

海外派遣留学生
留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

図書館

勉強する時は基本的に利用していた。学習スペースが多く快適だった。

プガク館

授業は基本的にこの建物で行われた。

福祉館

食堂でご飯を食べるときに利用していた。

法学館

食堂があるのでよく行っていた。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋_4人で使用

様子:

とても狭かった。勉強や作業をするにも集中できなかった。留学中の一番の悩みの種でもあった。そのため寮の外にいることが多かった。また人によってはシャワーを浴びない学生がおり、それによる匂いが原因で部屋にいることが耐えられなかった。またシャワーとトイレが部屋にあるものの、サンダルを履いて毎回利用するのが面倒だった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

多くの友達ができたくさん遊ぶことができた。いろいろな場所に行ったり、パーティーで楽しんだり、おいしいものを一緒に食べたり、本当に最高だった。そして悩みがあると、いつも助けてくれたことに本当に感謝している。本当に大切な方々である。出会いの大切さを心から感じた。

また仲良くなった友達と一緒に旅行にも行った。普段行けないような場所に行ったり、新しい体験をしたりと、充実していた。とても大切な思い出である。

● 苦労したこと:

最初は授業内容の語彙が難しかったり、相手の言っていることが聞き取れなかったりしてとても苦労した。また寮のトイレが詰まったり、シャワーの排水口が詰まって水が溢れたりしたことも大変だった。

海外派遣留学生
留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

確実に向上したと実感できる。留学の終盤では、ほぼ相手が言う内容を聞き取ることができるようになった。

2) 専門知識の向上:

多様な教養を身につけることができた。より多くの視点から物事を俯瞰することができるようになった。自分で調べていく中でたくさんの知識を得ることができ、将来の目標設定にもつながった。

3) 自己成長など

自分のことに集中しようという意識できるようになった。他人ではなく、まず自分が1番優先されるべきであり、他人の言動や置かれた状況にわざわざ干渉しなくていいと思えるようになった。

また、人は失敗する生き物だからこそ、少しくらいの迷惑をかけても、相手に自分の言動が理解されなくても、問題はない。それも自分の個性だと捉えられるようになった。実は他人はそこまで自分のことを気にしていないものなので、他人の視線や考えをいちいち気にしていたら何もできないと分かった。

そして、自分を大切にすることの大切さも学んだ。自分の意見を尊重し、嫌なら断ってもいいというマインドを育めた。その意味では、相手の都合に毎回合わせなくても、多少自分勝手でも悪影響はないから大丈夫だと分かった。このマインドを得たことにより、以前より細かいことや煩惱に振り回されず、自分のやること、人生に集中する意識が芽生えた。むしろ、海外では日本の常識が通用しないからこそ、このようなマインドが必要だとも身に染みて実感できた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

ぜひ留学に行って、出会えた仲間とともに、たくさん遊んで、いろいろなところに行ったり、おいしいものを食べたりして、かけがえのない思い出を作ってください。言語ができないと思っても、たくさん話して聞いてコミュニケーションをとっていくことで、できるようになります。時間が解決してくれます。

ですので、まず行ってみてください。

そうすれば、何がなんでも生き延びるために行動できるようになるはずですよ。

皆さんの留學生活を応援しています。ファイテン！

海外派遣留学生
留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	10万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	教材費 7千円 海外保険 15万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	食費 月4万円 交通費 月5千円
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	月1万円程度
その他()	
留学に関する費用の総額	計70万円程度



海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

